

国立保健医療科学院 公開シンポジウム 2017

入場無料

事前申込制

事前申込は、
ホームページから
お願いします。

参加申込締め切り
4月24日(月)

日時：2017年4月27日(木) 13:20～

会場：星陵会館ホール

東京都千代田区永田町2-16-2 / TEL.03-3581-5650

テーマ

公衆衛生の新たな挑戦 保健・医療・介護制度の改革にむけて

保健・医療・介護における現状・課題と平成30年からの諸改革の影響を踏まえつつ、広く将来を俯瞰して、わが国の保健・医療・介護をさらに改善し持続可能なものとしていくために、質の確保、効果の検証、連携のあり方等についてヘルス・サービス・リサーチの視点から論じます。

プログラム

挨拶 国立保健医療科学院 院長 新村 和哉

【座長】 国立保健医療科学院 次長 曾根 智史
国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部長 福田 敬

1 社会保障の持続可能性 ～その課題に向きあう～
厚生労働省大臣官房企画官 眞鍋 馨

2 医療(介護)制度改革の方向と課題
国立社会保障・人口問題研究所 所長 遠藤 久夫

3 効率的な医療提供に向けて～地域医療と費用対効果～
国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部長 福田 敬

休憩

4 地域医療ビジョンと地域包括ケアシステム
～データに基づいた医療と介護の連携のあり方～
兵庫県立大学大学院 経営研究科教授 筒井 孝子(前 国立保健医療科学院)

5 健康の保持増進を目指して
～特定健診・保健指導とデータヘルス計画～
国立保健医療科学院 生涯健康研究部長 横山 徹爾

総合討論

閉会



主催 国立保健医療科学院

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

お問い合わせ/TEL:048-458-6186 FAX:048-458-6112

参加申込はこちらから URL:<http://www.niph.go.jp/>

シンポジスト紹介



【座長】 国立保健医療科学院 次長
曾根 智史

専門は地域保健、人材育成、国際保健協力等。当院において、公衆衛生政策部長、国際協力研究部長、企画調整主幹等を経て2015年より現職。地域保健法基本指針や保健師活動指針の改定にも関わる。



【座長】 国立保健医療科学院
医療・福祉サービス研究部長
福田 敬

保健医療経済・保健医療管理を専門とし、近年は主に医薬品・医療機器・保健事業等の費用対効果の評価と制度への応用に関する研究に取り組む。



厚生労働省大臣官房企画官
眞鍋 馨

医学部卒業後、平成7年厚生省(当時)入省。厚生労働省保険局医療課課長補佐、大臣官房厚生科学課主任科学技術調整官、長野県健康福祉部長を経て、平成27年10月より現職。



国立社会保障・人口問題研究所 所長
遠藤 久夫

専門は医療経済学、医療政策。元中央社会保険医療協議会会長、社会保障審議会会長代理、社会保障制度改革推進会議委員等の役職を努め、医療・介護を中心として社会保障全般に関する審議に携わる。



兵庫県立大学大学院経営研究科教授
(前 国立保健医療科学院)
筒井 孝子

専門分野は、医療・保健・福祉領域のサービス評価、マネジメント等、要介護認定、看護必要度の開発。近年は、地域包括ケアシステムや地域医療構想を支える理論やデータを活用したサービス評価やマネジメントに関する研究を実施。



国立保健医療科学院
生涯健康研究部長
横山 徹爾

特定健診・保健指導や健康日本21(第二次)など生活習慣病対策に関する研究と人材育成に取り組む疫学者。



星陵会館 交通アクセス

- 東京外口有楽町線・半蔵門線・南北線
永田町駅6番出口より徒歩3分
- 東京外口千代田線
国会議事堂前駅 5番出口より徒歩5分
- 東京外口南北線
溜池山王駅 5番出口より徒歩5分
- 東京外口銀座線・丸の内線
赤坂見附駅 11番出口より徒歩7分

※会場には駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。